

安達太良山、磐梯山、西吾妻山 登山報告書

(防府山の会 6月例会)

2019. 7. 3

◇日 程 6月26日(水)～30日(日)

◇山行形態 レンタカー (トヨタハイエースグランドキャビン)

◇費 用 5万円

◇参加者 飯豊山 I.N(L会計)、M.K、U.N(記録)

磐梯山他 H.Y、H.Y、M.K、S.K(外)

◇アプローチ 6月26日(水)16時50分 駅レンタカー集合

<行き> 26日(水)

駅レンタカー(17:00)ー徳山東IC(18:10)ー広島JC(19:10)ー広島北JC

ー美作追分(21:50)ー吉川JC(23:10)ー敦賀JC(1:20)ー新潟中央JC(5:40)

ー阿賀野川IC(7:24)ー安達太良奥岳登山口(9:40)

<帰り> 30日(日)

飯豊梅花皮荘(8:00)ー米山(10:45)ー吉川JC(16:50)ー美作追分(18:10)

ー広島北JC(21:00)ー広島JC(21:20)ー防府東IC(22:30)ー防府市役所(22:40)

◇コース

磐梯山グループ

27日(木) 安達太良山

あだたら山ロープウェイ山頂駅(10:00)…分岐(10:40)…仙女平(11:20)

…山頂(11:40)…分岐(13:30)…薬師岳展望台(13:40)…山頂駅(13:50)

28日(金) 磐梯山

八方台登山口(8:30)…中の湯(9:00)…分岐(10:20)…弘法清水(10:48)…磐梯山

(11:33^12:00)…弘法清水(12:30)…分岐(13:20)…八方台登山口(14:13)

29日(土) 西吾妻山

天元台湯本駅(8:36)～(代行車)～(リフト)～北望台(9:34)…人形石(10:20)

…西吾妻山頂(12:10^12:20)…かもしか展望台(13:45)…北望台(14:17)

～(リフト)～(代行車)～天元台湯本駅

◇宿 泊 裏磐梯国民宿舎(0241-32-2923)、飯豊梅花皮荘イデカイヤ(0238-64-2111)

◇個人装備 保険証、地図、ヘッドライト、軽アイゼン、雨具、防寒具、行動食、スマホ、カメラ、レスキューシート、救急用品(共同装備)

◇山行記録

27日(木) 安達太良山へ 曇り午後雨

杉津(スイズ1:37)ー尼御前SA(2:40)ー米山(5:16)朝食、朝食後、相談の結果、今日は短時間で登れる安達太良山へ行くことになった。新潟中央ICから磐越道に入り、安達太良奥岳登山口到着(9:45)。7人(男性5人、女性2人)で準備運動をして、あだたら山ロープウェイ山麓駅まで歩き、チケット(往復1700円)を購入してゴンドラに乗り込む。あだたら山ロープウェイ(標高954m)から僅か10分で山頂駅到着(標高1344m)。ここから本格的に登山開

始。分岐から仙女平と歩を進め、開けた所に安達太良山と銘のある標柱に到着(11:40)。遠くから眺めると乳首に見えるが、近くに来ると岩場、そのトップが山頂になっている。皆で山頂まで登り大展望を満喫した。遠くは霞んでいるが、展望はいい。帰りは薬師岳展望台に寄る、後ろを振り返れば、安達太良山の山容が見渡せる。すぐ近くには“この上の空がほんとの空です”標柱が立ててあった。少し歩けばロープウェイ山頂駅、直ぐにゴンドラに乗り込む。運よく下降途中から雨が降り出した。今夜と明日の宿「裏磐梯国民宿舎」へと車を走らす。

28日(金) 磐梯山へ 時々小雨

裏磐梯国民宿舎 7時から朝食、8時出発、八方台登山口到着(8:30)、Sさんは待機して温泉に療養に行くと言っていた。6人の集合写真をSさんに撮ってもらい、クマ注意の看板を横目にみて登山開始。梢を揺らす風で、大粒の雨が上から落ち、仕方なく雨具を着る。暫く歩くと硫黄の匂いがする「中の湯」到着、廃墟になった数棟の建物が見える。お花畑と弘法清水の分岐は左のお花畑に、暫く歩くとガスが湧き強い風が吹く。弘法清水小屋到着(10:48)、隣の岡部小屋も閉店、小休憩。岡部小屋前の流れ落ちる冷たい水に、Hさんは缶ビールを冷やす、下山時に飲むとのこと。休憩後登り始めるが、意外と時間がかかり、磐梯山山頂到着(11:33)、山頂は風が強いしおまけにガスで視界ゼロ。急いで集合写真及び個人写真を撮って、すぐ下の小屋前まで避難、磐梯山標高 1816m の銘がある看板前で、再度集合写真を撮り直ぐに下山にかかる。途中Hさんは缶ビールの回収を忘れない、よく冷えていたそうだ。八方台登山口に無事下山(14:13)。ここで、喜多方ラーメンを食べる組と、五色沼を散策する組に分かれ、私は、Iさん、Mさん、Fさんと共に、五色沼を散策する事にした。コバルトブルーの沼も見られたが、曇天のせいか、あまり映えなかったのは残念だった。四人で1時間余り左右の沼を見ながらテクテク歩いて、ようやく今夜の宿「裏磐梯国民宿舎」に到着した。

29日(土) 西吾妻山へ 晴れ曇り午後は雨

裏磐梯国民宿舎 7時から朝食、8時出発。西吾妻スカイバレーをひたすら上り、天元台高原ロープウェイ湯元駅(標高 920m)に到着(8:36)。が、同ロープウェイは運休の為、代行車で天元台高原駅(標高 1350m)まで上がって行くとの事。その為、通常往復運賃が 3,500 円だが、ロープウェイ運休につき 2,100 円、ロープウェイには乗れないが、こちらの方が嬉しい。6人(男性5人、女性2人)で代行者に乗り、細いくねくね道を十数分上ると、そこが天元台高原駅。正面広〜い駐車場の中央にリフトセンター、右に緑の広大な天元台スキー場があり、長いリフトが上方まで続いていて、周り是一片お花畑になっている。長いリフトに乗っている時に後ろを振り向けば、遙か彼方に米沢市街が見えて、天候の回復を期待させる。途中2回リフトを乗り継ぐが、足元には植物名を記した札が無数差してあり飽きさせないし、吹く風も爽やかで気持ちが良い。リフトの行き着いたところが北望台、楽をして標高が 1,820m まで登って来た。軽く準備運動をして、いよいよ登山開始(9:34)。少しぬかるんでいる登山道の傍には、多くの可憐な高山植物が咲き乱れていて、撮影に夢中になる。暫く歩き、「人形石」が近くなるとガスがかかり展望は全くない、人形石もシルエットの中。多くの大小の石が転がるこの平な場所は、ガスが出ると方向が分からなくなる為、しっかり方向を確認して歩を進める。暫くは、ハイマツやササが混在する中の木道をアップダウン、大凹清水を過ぎた頃から斜面に残雪を見る。やがて緩やかな湿地帯になり、チングルマやイワカガミな

ど多くの高山植物が咲き乱れる。その後も何度かアップダウンを繰り返し、梵天岩や天狗岩を過ぎ、石垣に囲まれた神社の横を左に下り、西吾妻小屋のシルエットを見、さらに左に暫く登ると、ぽっかり開けた西吾妻山頂に到着(12:09)。午後からの天候悪化を考えて長居は無用だ。帰りは、大凹清水(13:17)、かもしか展望台(13:45)、北望台(14:17)と歩き、リフトセンター到着(14:57)。終始雨具を着ることもなく、唯一リフトに乗っている時は防寒の為に着用した。リフトセンターから代行車に乗り、天元台高原ロープウェイ湯本駅まで下りる。Sさん出迎えの車に乗り、今日の宿「飯豊梅花皮山荘(いいでかいらぎそう)」へと急ぐ。途中から雨が本降りになり、立派な建物の小国町営「飯豊梅花皮荘」に到着。部屋に荷物を置き、直ぐに内湯の源泉かけ流し温泉に入り、汗と疲れを流した。

◇感想

今回の山旅は、天候不良が予想されたことから、ハードな飯豊山縦走は止めて、磐梯山グループに合流することになった。が、登山予定日は全て雲+雨マークの為、果たしてどの山に登れるのか見当もつかなかった。蓋を開けてみれば、ロープウェイやリフトを利用した楽々登山で、安達太良山(1700m)、磐梯山(1816m)、西吾妻山(2035m)、いずれも百名山。午前中に行動した為、運良く三座共山頂を踏むことが出来た。安達太良山を除き展望は全く望めなかったが、ずぶ濡れにもならず、三座山頂を踏んだ達成感は皆さんあったと思う。それに何と言っても、いずれの山も高山植物が豊富で、登山道の傍らには可憐な植物が咲き乱れていた。ほんの一部を列記すると、チングルマ、サンカヨウ、イワカガミ、ショウジョバカマ、ヒメサユリ、コバイケイソウ、ゴゼンタチバナ、ウメバチソウ、ミヤマクワガタ、キヌガサソウ、ニッコウキスゲ、マイヅルソウ、ハクサンチドリ、タニウツギ、コゴメ、等々。また、石丸リーダーからは(いつも)多くの鳥の名前を教えて頂くが、殆ど右から左に抜けてしまい、いつもながら大変申し訳ない。小国町営「飯豊梅花皮荘」内湯の源泉かけ流し温泉も良かった。裏磐梯国民宿舎では、連泊したせいか名前入りのボールペンを頂いた。防府駅レンタカーを出発してから、四人で交代しながらも14時間にも及ぶ長距離運転は長く遠かった。さらに、会員外のSさんに会員のHさん、お二人共山の経験が豊富で地の利があり、道路事情や登山コース選定に、安心出来たことも特筆しておきたい。最後に、計画から宿の手配等にご心配されたIさん、長距離運転された方々、ご同行いただいた皆さんお疲れ様でした。感謝